

会 議 録

会議名	令和2年度 第2回 星が丘地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)			
開催日時	令和2年9月14日(月) 午後7時00分～午後8時30分			
開催場所	星が丘公民館 大会議室			
出席者	委員	19人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	3人(本庁地域まちづくりセンター2人、地域活力推進員)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) 星が丘地区の課題について (3) その他 ・市役所前さくら通り地区景観形成重点地区(素案)についての意見募集 4 閉 会			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言、 は申請団体の発言)

1 開 会

2 あいさつ

竹田会長あいさつ

3 議題

(1) 地域活性化事業交付金について

新規事業である「星が丘とその周辺地域を探検・散策するマップの作成」の申請について、申請団体が説明を行った。

<主な意見、質疑>

67万円という大金を投じて作るため、費用対効果を考え、できるだけ多くの人に活用してもらわなければならない。地図を配布した後の活用方法を聞きたい。

現時点では具体的には決めていないが、まちづくり会議の委員の皆さんに様々な団体に活用していただきたいと考えている。イベントの開催など当団体のみでは難しく、様々な会議等で広めてもらい、他の団体と協力して進められればよいと思っている。今回の1回で終わりにするのではなく、2年3年、その後も活用していきたいと考えている。

新型コロナウイルス終息後に、公民館でやっている散歩コースと一緒にやってみようか。自治会単位でイベント開催はなかなか難しいため、できれば団体と協力して開催していただきたい。私個人の考えでは、500人以上に地図が利用されれば、費用対効果が期待できる。数年かかったとしても、その位を考慮してもらいたい。

春は健康作り普及員でウォーキングをしており、秋は体育委員と共催で行なっている。春は例年公民館から歩けるところで計画している。すごく楽しみにしており、健康作り普及員でも広めたいし、健康予防体操をしている元気倶楽部にも関心をもってもらえると思う。すごくいい企画だと思う。

ガイドがいると良いと思う。会員の8名が研究し、ガイドしながら説明していければ、もっと内容が濃くなる。利用者が自由に行くだけでは、見るだけで終わってしまう。また、亀ヶ池八幡宮は勝手に行っても入れないことがある。そういった手配までしてもらえると良いと思う。

会員は、地図を作りながら相当あっちこっち実際歩き、調べている。解説は裏面に入れる予定だが、それが溜まりすぎて減らしている状況。削った部分を説

明して歩くなどして活用できないかと考えている。

星が丘周辺の区域は高低差が魅力だと感じている。陽光台から道保川や上溝、横山公園など。等高線とまでいかなくとも、例えば色分けなどで高低差を示してもらえたら魅力も出るし、健康増進にも役立つと思う。

星が丘地区の区域に限らず、周辺も入れる予定で、馬頭観音、横山坂、道保川公園、照手姫も散歩コースの案があり、高低差のあるコースも入っている。まだこれから道路や公園、学校など目立つ箇所は色を入れて作る予定で、市の白地図を利用しており、高低差まで入れるのは難しいかもしれない。

標高は、元々白地図に入っているがわかりづらいため、印をつけてあげるとよい。129号線の作の口のバイパスのところから姥川が出ている、そこを入れてはどうか。

129号線は範囲に入らず、横山小学校の少し西側までにしようと思っている。相模線は入るか。

相模線は入る予定である。

<結果>

健康管理のために様々な団体に活用してもらおうこととし、積極的採用となった。

(2) 星が丘地区の課題について

<主な意見、質疑>

・相談会について

相談会の開催については、ちょっと手伝い隊の中でやってもらうのはどうか。現時点では草むしりや枝切りなど、直接電話で依頼をしてもらい対応している状況。日時と場所を指定して相談会を開催するなど、やり方は色々ある。

専門的な相談になってしまうと、相談員となる人に知識の量が必要。ただ人がいればいいということではないが、詳細が決められればすごくいい話だと思う。

物を修理する相談があった時など、なるべく地域の業者を使うようにするとよい。利害関係があるので、その辺りも考慮し実現できれば良いと思う。

現時点で手伝い隊は手一杯。不定期に公民館を使って開催するなどして、地域情報紙でお知らせしてはどうか。

相談を受けたときに、どこまで細かく回答するのか。ある程度精査するべき。色々な情報の中でどのようにやっていくのかを決めなければ難しい。専門的なこととなると、相談内容がある程度想定されないと難しいかと思う。

人選が難しければ、公民館や自治会館にお助け箱などを置いて、定期的を確認するという方法もある。

解決までいかなくても橋渡しができればよいと思う。星が丘地域には力強い方々

がいたので、うまく連携を取っていければ、期待できる。

・販売会について

販売会の実施について、第4日曜日に開催している「いこいの広場」に合わせ、出品者がいれば開催すればいいのではないかと。公民館運営協議会に諮ってはどうか。

公民館以外でも、自治会館でも「いこいの広場」はやっているのだから、そこを利用してもよいのではないかと。

・リサイクルボックスについて

過去には実施していたが、回収業者が撤廃してしまったため、中止した。その問題が解決できなければ難しい。

資源回収と同じで回収業者がどんどん無くなっている。

プルタブの回収は、現在では缶とプルタブ両方がアルミ製のため別々にリサイクルすることに意味は無い。

・子どものパトロールについて

下校時のパトロールについて、消防団前の交差点について依頼したい。安協でも対応難しい。

毎日の下校時間に人を確保するのは難しい。

学務課で報酬が出る制度があるか、補償制度についても確認が必要。

現在は教員1名で対応している状態。

先生方も働き方改革で、時間短縮が必要。

・校庭開放について

学校としては、一回帰宅してからであれば良いとのこと。

一回帰ってからでは遊ぶ時間がほとんど無くなる。

学校が許可しないので無理だと聞いたが、現時点ではどうなのか。

学校はダメとは言わず、一回帰宅してからであれば遊んでも構わないと言っているが、今の時期は新型コロナウイルスの影響で開放は難しい。コロナが空けなければ正式な話し合いは困難な様子。

星が丘小学校の子どもが対象であるため、まずPTAで検討すべき。

市内では、放課後子ども教室の一環により中央小でさがみっこクラブや、横浜は放課後児童対策として個別にやっている。それらの制度や事例を、PTAで調査してもらいたい。その後で、PTAでやるのか自治会でやるのかという相談ができるのではないかと。

以前PTA懇談会でも議題にあがっていたので、さがみっ子クラブについて確認したところ、中央小は放課後子ども教室があり、見守る職員がいるため実施することができる。そのため、星が丘とは事情が異なる。

まずは学校の対応について、学校とPTAで話し合ってもらいたい。

・ イベント、見守り体制について

本日の会議をきっかけに、既に実施しているものを利用して各団体が協力し、イベントをやって欲しい。

コロナ禍でうつ状態になってしまった高齢者がいるという話を聞く。人に会う機会がないし、会ってはいけない状況。どのくらい困っている人がいるのか、民生委員ではそのような調査はしていないか。

民生委員では、高齢者や高齢単身世帯について、それぞれの民生委員が気になっている人について、対象者を絞った中で見守りをしている。以前は声掛けや、訪問していたが、新型コロナウイルスにより対面を控える状況になってからは、電気がついていないか否か、インターホン越しでの見守り活動を実施。

また、例年は70歳以上を対象に10月に訪問し、必要に応じ関係機関に繋ぐことになっているが、今年度はコロナの影響で中止した。そのため、日頃の見守りのみ実施している。

高齢者支援センターでも同様の相談が増えている。気になる対象者には連絡を取っているところである。南区の有料老人ホームでクラスターが発生した状況もあるが、現時点では通いのサービスについては感染が確認されておらず、対策を取りつつ運営しているため、センターでは状況によりデイサービスを中心でご案内し対応している。何かあれば相談してほしい。

・ 災害時の対策について

風水害時について、星が丘は安全だという話だが、そのようなことは無い。

昨年台風で突風により屋根が飛んでしまったが、時間外に連絡する場所がない。

どのようにしたらよいかわからなかった。罹災証明もすぐには出ず、たらい回しにされた。結局修繕に3か月かかり市の保証制度は無かった。そのため、風水害時の対策があると助かる。

昨年の台風は千葉でも大変な状況であった。昨年の星が丘公民館への避難は陽光台からも避難者がいた。避難所運営協議会で、どのように整理していくのか、ある程度まとめてもらい、自治会長会議でも話し合っていくべきだと思う。星が丘地区は自治会館を持っているところも多いので、備蓄関係も考慮し、会館を開ける準備を整えておくのも必要かと思う。また、星が丘地区の避難所は、星が丘小学校と上溝中学校があり地区連が主体では難しいと思う。

風水害だけでなく、雪の災害もある。大雪で帰れず、公民館あたりが開くといいのにと考えたことがある。

コロナによる分散避難も話題となっている。自主防災組織では光が丘が活発。

< 結果 >

リサイクルボックスは回収業者の確保が困難であり実施不可となった。その他の案

は制度等を確認し、地域で連携しながら今後進めていく。

(3) その他

・市役所前さくら通り地区景観形成重点地区(素案)についての意見募集説明会が中止になったため、意見募集を行うことになったことを説明した。

4 閉会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	竹田 幹夫	地区自治会連合会	会 長	出席
2	横田 智治	地区自治会連合会		出席
3	金ヶ江 實	地区自治会連合会		出席
4	後藤 陽子	公民館	副会長	出席
5	杉本 千枝子	公民館		出席
6	坂本 洋三	地区社会福祉協議会	副会長	出席
7	八木 鉄雄	地区民生委員児童委員協議会		出席
8	井上 アヤ子	地区青少年健全育成協議会		出席
9	近藤 大助	地区子ども会育成連絡協議会		欠席
10	山本 眞太郎	星が丘小学校 P T A		出席
11	高畑 由美子	青少年指導員		出席
12	小川 英明	スポーツ推進委員		出席
13	石黒 雄彦	地区老人クラブ連合会		出席
14	佐藤 浩史	星が丘高齢者支援センター (地域包括支援センター)		出席
15	富倉 亜紀	地区交通安全母の会		出席
16	立山 均	消防団第4分団第4部後援会		出席
17	小島 繁男	交通安全協会千代田支部		出席
18	山口 安宏	交通安全協会星が丘支部		出席
19	野中 保	有識者		欠席
20	小林 祥子	有識者		出席
21	奥山 憲雄	有識者		出席